

令和4年度学校評価報告書

令和5年3月13日

北海道教育委員会教育長 様

北海道旭川永嶺高等学校長
清水 公久 印

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|----------------------------------------------------------------|
| 1 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成 |
| 2 キャリア教育を通し、自己のキャリア形成により、自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択する生徒の育成 |
| 3 国際理解教育を通し、多様な価値観を受容し実社会で活躍できる生徒の育成 |

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・授業公開週間時の授業アンケート等の取組及び観点別評価の校内研修を通して、各教科の授業改善・評価改善が進んでいる。	・単位制の優位性を生かした授業選択等について更にきめ細かな指導を実施していく必要がある。
改善方策	・今年度の指導・評価の一体化推進の取組の工夫改善と総合的な探究の時間の一層の充実を図るとともに、ICTの積極的活用による授業改善を図る。 ・放課後の有効活用をはじめ、家庭学習の定着と学習意欲向上させる取組の充実を図る。	
生徒指導関係	・特別な配慮・支援を要する生徒が増加傾向にあり、年次コーディネーターの役割が重要性を増している。さらなる年次間の連携、特別支援委員会との緊密な連携が必要である。	・生徒指導全般について概ね良好であると評価を受けている。特別な配慮・支援を要する生徒への支援は引き続き重視する必要がある。
改善方策	・いじめの早期発見、早期解消の取組はより重視していく。生徒の自主的な取組も生かし、いじめの根絶のための啓発的な取組の充実を図る。 ・特別支援委員会の役割が増しているため、職員室と保健室の円滑な連携を図る。	
進路指導関係	・放課後講習、長期休業期間講習等に継続的に実施し、大学・短大・高等看護学校へ多数の合格者を生むことができた。	・高大連携をはじめ、外部の教育機関との連携を強化し、系統性をもったキャリア教育の充実が必要である。
改善方策	・キャリア・プロジェクト（高校3年間を見通したキャリア教育）の更なる工夫・改善し、大学入学共通テストへの対応を含めた多様な進路希望に備えた校内研修の充実で教職員の資質向上を図る。	
特別活動関係	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、生徒の自主性・主体性を育む行事にて制約があったが、部活動を通して地域の行事やイベントに参加するなど地域との連携ができた。また、校内では生徒主体によるいじめの未然防止、交通安全、新型コロナウイルス感染拡大防止等への啓蒙活動にも取り組むことができた。	・スクールミッションを実現するために、さらなる地域連携を意識した教育活動の充実を図る必要がある。
改善方策	・生徒会の委員会活動、部活動を通じた地域貢献の充実させ、生徒会執行部だけでなく、各委員会、部活動を通して、生徒の自主性やリーダー性を育み資質向上を図る。	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自主的・主体性を育みながら、感染症対策にしっかり取り組みながら両立に務めた。健康管理、教育相談体制についてはできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、コロナ感染症対策や各種アレルギーへの対応等、一人一人の生徒情報を的確に把握し、安全対策を講じる必要がある。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 今後も生徒の自主的・主体的な健康把握に努めさせるとともに、自らの生命の大切さを意識させるため、HR活動及び外部講師を招いた講演会等を実施等工夫・改善し、生徒の意識向上を図る。 衛生委員会を中心にさらなる職場の衛生労働環境の改善と充実を図る。 AEDに加え、エピペンの取り扱いやアレルギー疾患等への緊急対応の定着についてはリーフレット等を活用した啓蒙を実施し、健康安全指導の充実を図る。 	
信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、各種通信等による教育活動の発信に努めた。 中学校訪問も積極的に行い、本校の取組に係る理解を広めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの適宜更新するとともに、学校の教育活動が地域住民や保護者にわかりやすく伝わるように工夫することも必要である。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや年次通信等の情報については、分かりやすく伝わりやすい内容にすることに努め、タイムリーな発信で地域・保護者との連携を図る。 地域・保護者に積極的な情報発信を行うため、町内会やマスコミ等との更なる連携を図る。 	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 新設校として7年が経過し、組織体制は整備された。更に機能的な組織運営ができるよう緻密な連携が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織的に教育課題に対応できるよう管理職を中心に日常的なコミュニケーションを重視し、機動的な組織運営に努める。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> 次年度から間口減になることから、さらなる報告・連絡・相談を緊密に行い、組織として統一性・共通認識を持った学校運営の推進を図る。 働き改革の推進するため、職員との個別面談、各分掌業務等点検・工夫・改善を実施し、業務の見直しやICT機器を活用した業務の改善を図る。 教職員が毎日の教育活動に集中できる環境整備と意識改革を図る。 	

公表方法	学校ホームページ、学校評議員会、PTA役員会、PTA保護者懇談会における公表と説明
------	-------------------------------------------

3 添付資料

- (1) 令和4年度学校評価（教職員）結果
- (2) 令和4年度学校評価（生徒）結果
- (3) 令和4年度学校評価（保護者）結果
- (4) 令和4年度学校関係者評価（学校評議員）結果